

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

本校は農業高校でありフラワーファクトリイ（園芸）科の授業では「植物の栽培と利用」、特にガーデンの制作・管理の学習を中心に学習を行っている。ガーデン制作管理については、公共の花壇と私的（家庭）花壇について学習しているが、住環境の変化により家庭に花壇を作るスペースがない家庭が多くなっている。家庭でグリーンを楽しむ方法として、観葉植物をインドアグリーンとして楽しむ事が、1990年代に流行して現在もこの方法は続いている。しかし住環境の変化により、狭い間取りの住居内では小さな観葉植物を楽しむ程度になっているがわかった（一般家庭において、大中の観葉植物を楽しむ人は非常に少なくなっている）。狭いスペースで楽しめる室内インテリアグリーンと小スペースで管理ができるベランダや窓際で楽しめるグリーン（園芸）の普及が出来ないか考えた。

現在の住宅の多くは、個人で小さな庭も持てないのが現状である。狭い間取りの住居において、グリーン（植物）を有効利用して、少しでもストレスを緩和しリラックスが出来る住環境を整える研究を行いたいと考えた。

2. 学習予定の概要

A 中心となる活動

- ① 本校生徒の住居でのグリーンインテリア利用状況を調査する。
 - 小さなスペースで楽しめるインテリアグリーンの制作を行い、実際に利用する。
- ② 本校と連携している UR 団地住民の室内グリーン利用状況を調査する。
 - 調査結果を参考にし、インテリアグリーンを利用してもらい、結果をまとめる。

今回の研究に利用する室内（ベランダ）インテリアグリーンは、卓上で楽しめる小さな「テラリウム」「ボトリウム」「コケリウム」と「小さなプランターで育てるベランダ園芸」・「窓際で育てる寄せ植え鉢栽培」の5つのパターンを考えている。

B 授業の狙いと特徴

- ① 住居におけるインテリアグリーン・小さなベランダ（窓際）園芸の役割を考える。
- ② トレンドとして利用された小さなインテリアグリーンを、トレンドではない住環境改善ツールとして定着させる。
- ③ 住環境を改善し、生活を豊かにする園芸ツール（キット）の開発を行う。

C 学習の流れ（指導計画）

期 間	実 施 内 容
7月～ 8月	住居におけるインテリアグリーン利用状況調査
9月～10月	研究（インテリアグリーン・ベランダ園芸）キットの配布・制作・管理実習
10月～11月	団地の利用状況調査・団地住民を対象にした研究キット配布
11月～12月	まとめ学習・学校祭にて発表

その他特記事項がありましたらお書きください

2017年度「住教育授業づくり助成」に採用され、「住居における魅力あるガーデン制作」というテーマで研究を行う。本校では2004年よりミツバチの飼育（養蜂）を行いながら、都市型小規模養蜂の可能性について研究を行い、養蜂研究の他に、ミツバチを利用し食育・環境学習の他、ミツバチが利用する植物を使用した庭作り（、「ハーニービーガーデン」と名称）に取り組んでいる。

これらの取組は、2015年 環境省主催の『第10回みどり香るまちづくり企画コンテスト』で「レモンの香るハーニービーガーデン」というテーマで、入賞した（添付資料1

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/result/past.html）。

また「ハーニービーガーデン」の普及に向けて近隣保育園でのPR活動を行ってきた。この取り組みを住友財団主催『YOUNG JAPAN ACTION 浅田真央×住友生命2016』に応募し、「伝統産業養蜂復活へ！ミツバチと遊びに行くよ！ワクワク！ドキドキ！プロジェクト」というテーマで奨励賞を受賞した（添付資料2）。

2017年には、国土交通省主催・第一生命保険株式会社共催『第28回 緑の環境プラン大賞』ポケットガーデン部門で、テーマ「ミツバチを見ながらアフタヌーンティーを！～生きものに優しいポケット・ガーデン～」でコミュニティー大賞を受賞した。

（添付資料3 http://group.dai-ichi-life.co.jp/dai-ichi-life-foundation/green/file/2017_001.pdf

ガーデンの部門では、ミツバチを核にしたビオガーデンの制作・管理・普及を目指し活動を行っており、少しずつではあるが本校オリジナルのガーデンとして形になってきている。2017年度に採択して頂いたテーマの研究においても、「ハーニー・ビー・スモールガーデン」のモデルケースの制作に大変に役だっており感謝しています。これらの内容については、機会を改めて発表をしたいと思っております。

室内の住環境改善について、トレンドになった園芸テクニックをトレンドで終わらせることなく、再使用して癒しの住環境の創出と実利用できるツールの開発という視点で、研究に取り組み社会貢献をしたいと考えている。

※複数枚になってもかまいません。

※他に添付資料がありましたらお付けください。

Lemon (レモン) の香るハニービーガーデン



企画の目的

① ハニービーガーデンの制作・普及

私たちは、養蜂に取り組みながらミツバチが利用する植物(蜜・花粉源植物)を使用したミツバチの産つくりに挑戦中である。私たちはこの産つくりハニーガーデンと名付けて普及を目指している。ハチプロジェクトには既に認知・定着しているが、食料と養蜂を結び合わせるために、管理に専門的知識が必要である。ハニービーガーデンは養蜂植物のみ使用しているために管理がしやすく、ミツバチの他にも他のハチや蜂等の昆虫やミツバチも訪花する。ハチミツ生産にも役立つ産地である。都市の生態系保全にも寄与し、ハチプロジェクトとは違う、新しい形のどよガーデンのモデルケースを作成しながら、地域への普及を目指す。

② レモンの香る食育ガーデン

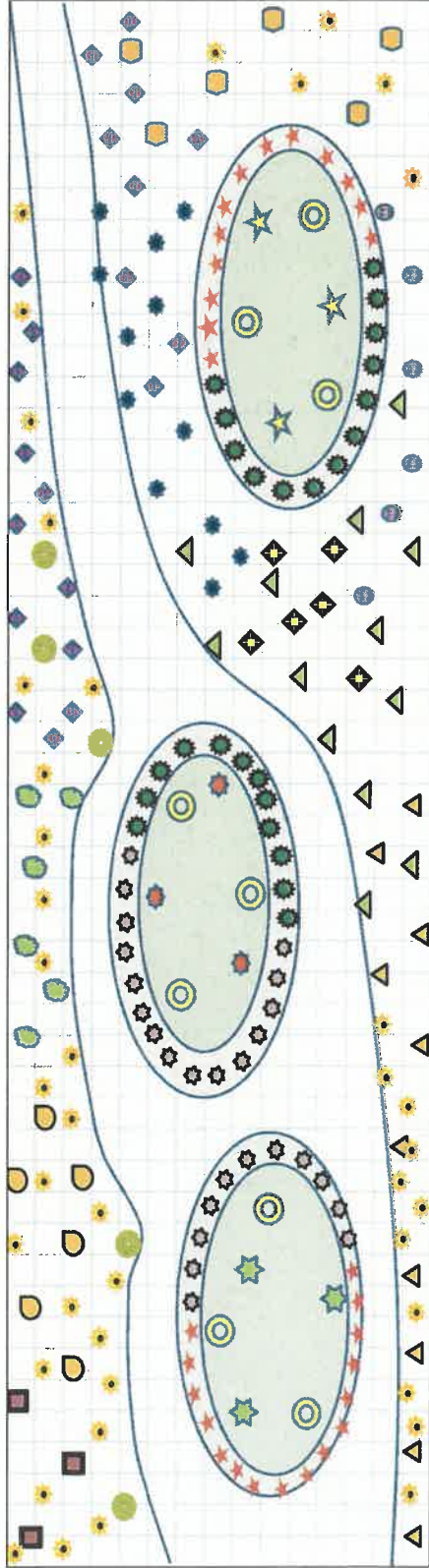
レモンの香りがする樹木・ハーブ類を使用し、レモンの香る小さな庭を作る。このガーデンで育てた植物は食卓を豊かにし(マーマレード・ジャム・ハーブティ)、食育を推進(食の楽しさを演出する)し、レモンの香るスペースとする。マイヤーレモンを地域の特産品として売り出すために、ガーデンングに利用する手法を提案する。



養蜂の様子
(園芸高校ハニービーサイエンスクラブ)



マイヤーレモンの結実の様子



- 樹木・宿根草は三角形を基本に配置し、ナチュラルガーデン風のガーデンとして、制作管理を行う。
- マイヤーレモンをガーデンのメインとして植栽し、レモンタイム・レモンバーム・レモンミント・レモンブランツ(的に)として使用する。

マイヤーレモン 9本	★ レモンユーカリ	レモンタイム	レモンバーム
レモンバーム 3本	▲ バラスイーグランド	レモンゼラニウム	レモンミント
レモンタイム 12本	△ プラクバリー 3本	レモンタイム	レモンバーム
レモンタイム 12本	○ レモンタイム	レモンタイム	レモンバーム
レモンタイム 12本	○ レモンタイム	レモンタイム	レモンバーム

企画場所 大阪府池田市





浅田真央 × 住友生命 2016

(団体名:大阪府立園芸高校ハニーサイエンスクラブ(大阪府))



伝統産業「養蜂」復活へ!

「ミツバチと遊びに行くとよ! ワクワク! ドキドキ! フロントワークト」

大阪府立園芸高校ハニービーサイエンスクラブ ミツバチを見ながらアフタヌーンティーを! ～生きものに優しいポケット・ガーデン～

大阪府池田市



●広い敷地に小さな庭をたくさんつくる。地域に緑を増やすためのモデルガーデンになればと願う



●1年草と宿根草・低木の混ぜ植えで花壇にリズムを。これも庭づくりのコツ



●ラズベリーには蝶もハチもやってくる。今後は食べられるものをもっと増やしていきたい



●ハチミツ絞り体験やミツバチ箱の観察会などを地域の保育園と協力して実施



●生徒たちのつくったハチミツは、学校内で販売されている

広くなくても楽しめる小さな庭づくりのすすめ

校内の敷地に、花壇として有効利用できていない場所がある。そこで、主にミツバチが利用する植物を植え、生きものが観察できて、花々も楽しめる小さな庭として、近隣住民にも公開していく。

「バタフライガーデンが流行っていますが、チョウだけでなく、いろいろな虫が訪花する〈ハニービーガーデン〉と名付けた新しいタイプの庭を提案しています。ナチュラルガーデンの手法で管理していますが、いわゆるナチュラルガーデンと違って、色とりどりの花が楽しめる庭です」と教えてくれたのは府立園芸高校フラワーファクトリ科教諭・尾崎幸仁さんだ。日本人の多くは花がないと庭ではないと思いがちだが、ナチュ

ラルガーデンは葉(グリーン)を楽しむもの。その考えを尊重しつつ花々をどれだけ取り入れていくか考えるのが楽しいと尾崎さんは言う。

園芸デザイン部「ハニービーサイエンスクラブ」は、地域の保育園に出向きハチミツ絞り体験学習を実施してきたが、その最中に園児から、「ミツバチはどんな花につくの?」と質問されたのがきっかけで、ミツバチだけでなく、虫が好む花の研究を始めた。

「小さい敷地でもいい庭はできます。うちの花壇がモデルガーデンになればいいなと思っています」と尾崎さん。多くの家庭や企業が庭づくりに精を出す。そんな小さな庭がいたるところに生まれて、生きものもいっぱいやってくる。庭づくりから始めるまちづくりだ。